

## 6月8日：利益確定売りが広がり、VN 指数は続落

投資家による利益確定売りが広がり、VN 指数は 2.86% 安の 1,319.88 ポイントと続落。

同指数は取引最初の 30 分間で 1,364 ポイントまで上昇したが、株価ボードで取引データの遅延について兆候が見られたことで売りが殺到。39 ポイント同指数は下落し 4 月 22 日以来最も大きな下げとなった。

ホーチミン市場の売買代金は前日比で 4.7% 増加し、30 兆 2,900 億ドン（13 億米ドル）となった。騰落別では 321 銘柄が下落、94 銘柄が上昇した。

VN30 指数は、組入銘柄のうち 26 銘柄が下落。そのうち ヴィエティンバンク、テクコムバンク、ベトコムバンクの銀行株 3 行は、VN 指数を 8.7 ポイント押し下げた。

同指数の値下がり寄与度トップは国有銀行のヴィエティンバンク（CTG）で、指数を 3 ポイント以上押し下げ、5.8% 下落した。

民間銀行のテクコムバンクも 5.5% 値を下げた。今年に入って株価は 57% 上昇していた。

3 日続伸していた国有銀行のベトコムバンク（VCB）も 2.9% の下落となった。

民間銀行の HD バンク（HDB）とサコムバンク（STB）は下落率でトップ。それぞれ 6.8% 下落した。

VN30 指数のうち、上昇したのは 4 銘柄のみ。ベトジェット（VJC）は 4.8% 高と組入銘柄では最も上昇し、この日 5 日続伸となった。

タインタインコン・ビエンホア製糖（SBT）が 1.4% 高、リー冷蔵電気工業（REE）が 0.4% 高、ビナミルクが 0.3% 高とそれに続いた。

外国人投資家は 7 日連続で計 3,626 億ドンを売り越した。ダットサイングループ、ホアファットグループ、ビンググループといった銘柄に利益確定売りが出た。

HNX 指数は 3.84% 安、UPCoM 指数も 2.99% 安だった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。